



滝沢市交流拠点複合施設の備品調達 に係るサウンディング型市場調査 実施結果（公表）

滝沢市交流拠点複合施設の備品調達の検討にあたり、空間との調和や施設を利用する人にとって快適で使いやすい備品、さらには、これら備品を安価に購入（導入）する方法について企画提案を募集した実施結果について、概要を公表いたします。

1. 参加者数

平成27年10月16日（金）の説明会では、18社の参加がありました。

企画提案については、11社（グループ）の方々から提案をいただき、平成27年11月24日（火）～27日（金）にかけて11社（グループ）すべてとサウンディング（対話）を行いました。

参加者は、1社単独での提案から、販売店とメーカーなどがグループを組んでの提案がありました。

2. 提案部分

今回、サウンディングの対象として、大ホールの舞台備品を除く「コミュニティ・産業創造センターゾーン」、「図書館ゾーン」、「カーテン・ブラインド」の大きく3つのくくりの提案部分としていました。

提案内容では、先の3つのすべての部分の提案から、会議室のテーブル・イスに特化した提案、キッズルームやクッキングスタジオなど個別の部屋に限定した提案、図書館部分の提案、電気機器を主体とした提案などがありました。

また、逆に今回は限られた時間の中での提案でもあったことから、今回提案していない他の部屋やさらに今回の対話を踏まえた提案などについて、各社より今後、機会があれば提案していきたいという意向が多くありましたので、これらにつきましては、各社の任意で、別途、提案していただくことになりました。

2. 全体のコンセプト

各社とも、市ホームページで提示している交流拠点複合施設に関する資料を熟読いただき、当施設に見合った施設コンセプトの提案をいただきました。

全体のコンセプトとしては、各社とも自社としての特徴を十分に発揮していただき、低価格にこだわった提案、自社の特徴的な商品で市民サービスの提供に繋げた提案、価格を抑えつつも安全・安心な家具の提案、木製家具の提案などがありました。

一方、各社とも共通で、施設空間に見合ったカラー（家具の配色）の提案がありました。基本カラーとしては、ホワイト、木目調（木製）が多くありましたが、活気をキーワードにオレンジの提案や温かみをキーワードにナチュラル・グリーンを用いた提案もあり、公

共施設＝グレーといった概念を払拭した、新たな施設にふさわしい配色が各社から提案されました。

3. 見積金額

各社から定価及び実勢価格の提案がありました。今後は、提案いただいた実勢価格を踏まえながら予算要求並びに入札等における設計価格にしていきたいと思います。

4. 安価に備品を導入するための手法など

備品を安価に導入する方法について、次のような提案がありました。

- (1) 企業広告については、各社とも基本的には、難しいといった内容でした。ただし、自社のカタログやパンフレット、ホームページなどで導入事例の紹介などであれば、可能といった話もありました。
- (2) 型落ちやアウトレット品については、時期や物が限定されてしまうものの、提供可能であるとの話もありました。
- (3) 図書館部分につきましては、現地調査をしていただき、引き続き使用できるものは使用するという提案もありました。

5. 今後の入札等にあたって

各社からの提案を踏まえ、概ね次のような傾向及び今後の入札等の方向を考えています。

- (1) 会議室関係の部屋については、会議用のテーブル、イスを統一することで、館内全てで兼用することが可能であるとの提案をいただきましたので、今後の入札にあたっては、まとめて発注する方向で進めていきます。また、会議室関係の部屋については、空間の創出というよりは、基本的にテーブル、イスの配置になるため、競争入札により発注していきたいと考えています。
- (2) ふれあい広場については、メインの空間でもあり、各社から様々な提案がだされました。特徴的な家具などの選定からソファやイス、テーブルの配置、配色に至るまで空間としての提案が三者三様にありました。また、同空間内には、喫茶コーナーも併設しており、カフェテラスのような配置案もありました。こういった提案を踏まえ、今後は、提案型の入札（プロポーザル）も視野にいれながら検討していきたいと思います。
- (3) クッキングスタジオ、創作兼準備室、キッズルームについては、ふれあい広場と同様に様々な提案がありました。これらの部屋（空間）については、市側で家具を定めるのではなく、それぞれ創造性あふれるものとして提案いただくのが最も良い方法と思いますので、提案型の入札（プロポーザル）により業者を選定していきたいと考えています。
- (4) 図書館については、冒頭にも記載しましたように、図書館だけでの提案もあったこ

とも踏まえ、既存備品の利活用（再利用）を含め、図書館部分として備品調達していきたいと考えています。

（５）デジタルサイネージやプロジェクターなどの電気機器については、他の備品と一緒に発注するのではなく、別で電気機器として発注するほうが競争になるといった話がありましたので、電気機器として発注していきたいと考えています。

（６）上記以外の部屋（部分、内容、物）についても、今後、精査を行い、上記のいずれかの方法により、とり進めていきたいと思います。

６．最後に

サウンディング型市場調査に参加していただきました皆さまにおかれましては、限りある時間の中、また、数多くある備品・家具の中から、本施設のコンセプト、特徴（この施設への本市の想い）を踏まえ、各社特色あるご提案をいただき、大変ありがとうございました。

今回のサウンディング型市場調査では、家具・備品自体のご提案もありますが、施設にとって、たきざわにとってより良い備品調達の手法についても、大変貴重なご提案と意見交換（対話）ができたことを、重ねて御礼申し上げます。

今後は、先に記載しましたように提案内容を踏まえながら、予算要求並びに発注準備をとり進めていきます。また、今後の発注方法並びにスケジュール等については、順次ホームページ等にてお知らせする予定です。

平成２７年１２月２４日

滝沢市長 柳 村 典 秀